

ぜひ挑戦してみてください

皆さんの家庭では、新聞を購読していますか。最近ではデジタルで情報入手する人も増えていきますので、購読していない家庭もあるかもしれませんね。ラーニングコモンズに新聞がありますので、目を通してください。

毎週金曜日の中日新聞には、中高生を中心にした若い世代の意見が載せられているコーナーがあります。時には、小学一、二年生の意見が載っていることもあります。自分の意見を原稿用紙一枚(四百字)に収め、新聞社に送るだけです。

本日は、なんと瑞浪市の中学生の文章がいくつか載っていました。初めて見る名前ばかりでしたので、北中以外の中学校の生徒でしょう。それも複数人分の文章が載っていましたので、恐らく授業で取り組んだ作文を新聞社に送ったのだと思います。

送れば必ず載るわけではありませんが、自分の文章が新聞に載り、東海地方の人々に読まれることは、大きな感動をもたらします。私もこれまでにいくつか投稿し掲載されました。大学生の時には、掲載されたご褒美を書籍代に充てて生活していたぐらいです。

授業をもっていたときには、国語の授業で生徒たちが書いた作文を積極的に新聞社に送り、多くの生徒が掲載されました。昔は「選択国語」という授業が週に一回あり、パソコンのワープロ機能を使って生徒たちは毎週文章を書き、新聞社に送っていました。一年間で約一万円分の図書カードを手に入れた生徒もいましたよ。

でも、ご褒美のためではないのです。自分がどんなこと、どのような意見を持っているかを表現し、それを新聞を通して世の中に発信します。そういう努力を通して、自分の考えを深め、思慮深い自分を作り上げるのです。中には、紙面上の生徒の文章を読んで感想や違う意見をお寄せくださった一般の方もみえました。それがまた励みになるのです。原稿用紙一枚の文章で、文章を書く力がつき、考えも深まっていく。そして、読み手がいることがわかり励みにもなるのです。皆さんもぜひやってみてはいかがでしょう。

興味のある人は、私に声をかけてください。書き方や投稿の仕方など教えますから。書く内容がタイムリーであれば、数日で新聞に掲載されることもあります。自分の文章が新聞の活字になると言うことは感動ですよ！ぜひ挑戦してみてくださいね。これも主体性だね。

(六月十九日 記)